

日本トレンド・セレクト 日本トレンド・マネーポートフォリオ

追加型投信／国内／債券

交付運用報告書

第23期（決算日2019年1月11日）

作成対象期間（2018年1月12日～2019年1月11日）

第23期末（2019年1月11日）	
基準価額	10,075円
純資産総額	2,451百万円
第23期	
騰落率	0.00%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日本トレンド・セレクト 日本トレンド・マネーポートフォリオ」は、2019年1月11日に第23期の決算を行ないました。

当ファンドは、主としてわが国の公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をはかることを目標に運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

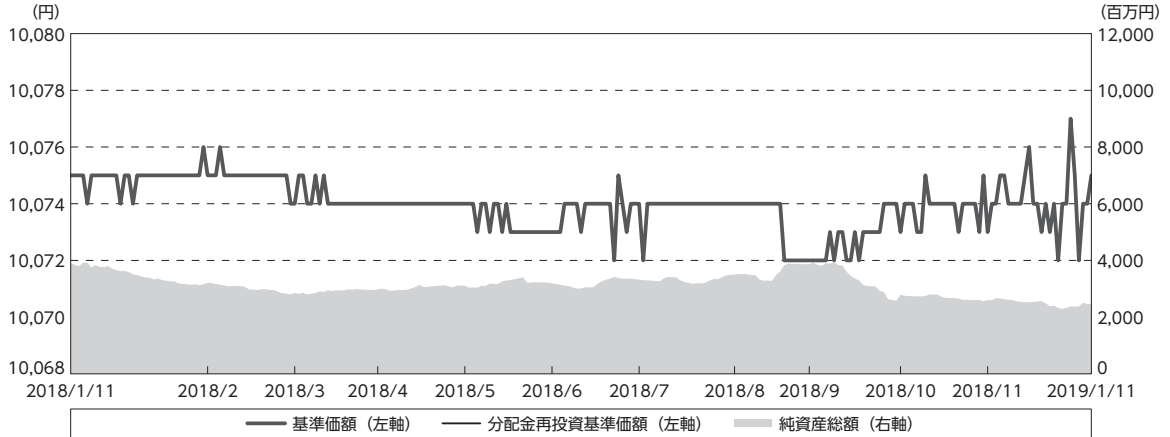
信託期間に関するお知らせ

2019年4月12日付で信託期間を5年更新し「2025年1月14日まで」に変更予定です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年1月12日～2019年1月11日)



期 首：10,075円

期 末：10,075円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 0.00% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2018年1月11日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をはかることを目標に運用を行っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

1 万口当たりの費用明細

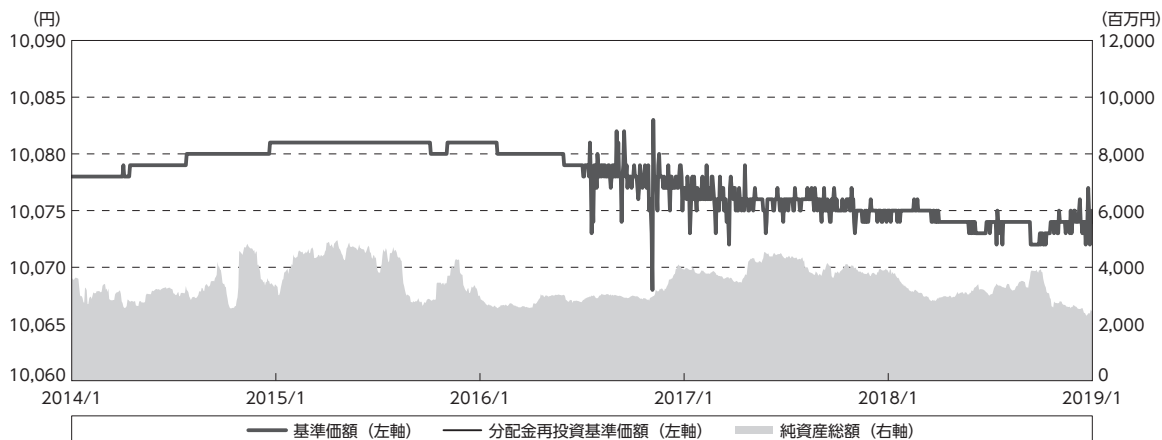
(2018年1月12日～2019年1月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	円 0	% 0.002	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益 権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係 る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,073円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月14日～2019年1月11日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年1月14日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年1月14日 決算日	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月11日 決算日	2018年1月11日 決算日	2019年1月11日 決算日
基準価額 (円)	10,078	10,081	10,081	10,078	10,075	10,075
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.03	0.00	△ 0.03	△ 0.03	0.00
純資産総額 (百万円)	3,545	3,399	2,980	3,959	3,902	2,451

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年1月12日～2019年1月11日)

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.17%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年1月12日～2019年1月11日)

当ファンドは、「日本トレンド・セレクト」においてスイッチング(乗り換え)する場合に、スイッチング先の決定や買い付けタイミングを図る目的で一時的にご利用いただくファンドです。このため、資金の流動性と安定収益の確保を目標とし、純資産規模を考慮しながら、コール・ローンを活用しつつ短期の公社債に投資する運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年1月12日～2019年1月11日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年1月12日～2019年1月11日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第23期
	2018年1月12日 ～2019年1月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	172

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、資金の流動性と安定収益の確保を目標とし、金利環境および純資産規模を考慮しながら、原則として金銭信託並びにコール・ローンを活用しつつ短期の公社債に投資する運用を行ないます。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2018年1月12日から2019年1月11日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

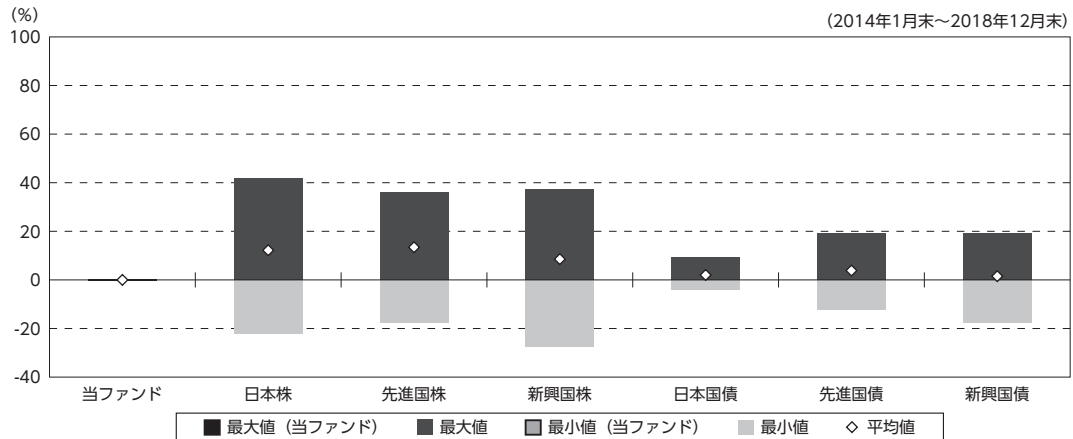
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年4月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	1996年12月2日から2020年1月14日までです。
運用方針	主としてわが国の公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をはかります。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	主としてわが国の公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をはかります。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 なお、収益分配金額は1万口当たり10円以上10円単位とします。 ただし、分配対象額が1万口当たり10円未満の場合には分配を行ないません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	0.0	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△0.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	△0.0	12.2	13.4	8.5	2.0	3.8	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年1月11日現在)

○組入上位10銘柄

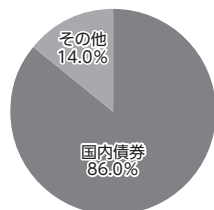
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	第131回大阪府公募公債(5年)	地方債証券	円	日本	16.3
2	平成26年度第3回福岡市公募公債(5年)	地方債証券	円	日本	12.2
3	第67回株式会社日本政策投資銀行無担保社債(社債間限定同順位特約付)	特殊債券	円	日本	12.2
4	第73回株式会社日本政策投資銀行無担保社債(社債間限定同順位特約付)	特殊債券	円	日本	8.2
5	第42回日本高速道路株式会社債(一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構連名の債務引受条項付)	普通社債券	円	日本	8.2
6	第70回株式会社日本政策投資銀行無担保社債(社債間限定同順位特約付)	特殊債券	円	日本	8.2
7	第90回共同発行市場公募地方債	地方債証券	円	日本	4.2
8	平成22年度第2回京都市公募公債	地方債証券	円	日本	4.2
9	第177回神奈川県公募公債	地方債証券	円	日本	4.1
10	第8回地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	4.1
	組入銘柄数			11銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

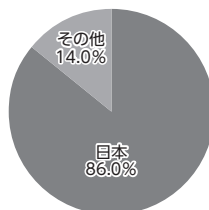
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

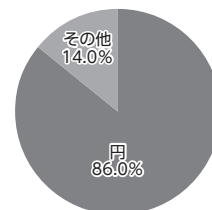
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第23期末	
	2019年1月11日	
純資産総額	2,451,999,104円	
受益権総口数	2,433,842,310口	
1万口当たり基準価額	10,075円	

(注) 期中における追加設定元本額は8,740,103,999円、同解約元本額は10,179,950,731円です。